

巻末のあいさつ

和田内科医院
和田 成雄 先生

「土井邦紘先生が会長をしておられる研究会に入りますか？」と小出操子先生に声を掛けられ、「全国臨床糖尿病医会」と言う名前も聞かず、二つ返事で「ハイ、入ります。」と答えたのが、そもそもの始まりで、私が開業した平成10年のことでした。「皆さん勉強熱心で、夜の10時、11時過ぎても終わらないんですよ。」と言われ、些か怖気付きましたが、都合がつく限り参加させて頂きました。私は国保の審査委員をしておりましたので、当時、愛知の柴田温三先生が中心になっておられた「診療と保険のQ&A」の委員を委嘱されました。その後、石川の吉光康平先生、神戸の渡辺伸明先生、仙台の奥口文宣先生などとペアを組み、会の運営に当たりました。そして、鹿児島島の橋口恭博先生に加わって頂きましたが、今は橋口先生が中心となって委員会の運営に当たって下さっています。橋口先生が理事になられた時に、「私の理事としての役目は終わった」と思い、この度、多少遅きに失した感がありますが、理事の職を辞することとさせて頂きました。理事は辞任しましたが、本会には今後も可能な限り参加させて頂きますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

ところで、糖尿病診療に当たり、学問的知識が必要であることは論を俟ちませんが、糖尿病は多様性に富む疾患であり、100人の糖尿病患者がいれば100通りの病態が存在します。それぞれ一人づつの患者さんに対して適切な療養指導をすることは至難の業です。療養指導をするためには、医学的知識は勿論の事、患者さん自身の背景因子を体感として理解することも必要です。

先日、当院受診中の某大学副学長・教授で「教養教育：liberal arts education」の必要性を説いておられるT先生から、「お医者さんが、一番教養がお有りなんじゃないでしょうか」と言われました。「教養」を手元にある辞書で調べると「学問、知識を身につけることで養われる、心の豊かさ」とあります。大学入学後2年間、教養課程がありましたが、数学や物理、化学などの講義で心が豊かになる学問や知識が身につきましたでしょうか。また、それらが医師となった後、どれだけ役に立っているでしょうか。しかし、幸か不幸か、私の教養課程の2年間は、いわゆる学園紛争の真っただ中で、講義以外にもデモや集会への参加など、通常では経験できない経験をしましたし、また旅行や美術館やコンサートに行ったり、囲碁・将棋・麻雀など趣味？に興じたりもしました。学問とは言えないかもしれませんが世俗の知識を色々と身につけることは出来ました。

私には難しいことは解りませんが、「教養：liberal arts」とは、一般教養と言われる「幅広く浅い知識」ではなく、「あちこちに井戸を掘る」が如きものだ、とのことだそうです。そういう意味で私に「教養がある」とはとても言えませんが、医師になって50年余り、浅く広く知識を集積してきました。一般教養とまでも言えない雑学が、多様な病態を呈する糖尿病患者さんの療養指導に何某かの役に立ってきたものと思っています。

我々が若い頃は、「俺の言うことを聞いておれば病気は良くなる。」「良くならないのは、俺の言うことを実践できないからだ。」的な診療でした（ちょっとオーバーかな？）。医学的知識だけで診療できないことは、もはや自明の理で、そこでコーチングという分野が脚光を浴びるようになりました。コーチング技術を十分に発揮するためには、患者の仕事、家族環境、趣味、食習慣、運動習慣、などなど、多岐に渡る患者背景を体感として、あるいは経験として理解することが必要です。つまり、多様な病態を呈する糖尿病患者さんの療養指導を行うためには、「浅いかも知れないが幅広い知識」と共に、可能な限り、「あちこちに深い井戸を掘る」ような教養も身につけておきたいものです。専門課程に進む前の教養課程ではなく、専門課程を終えた後の教養教育が、特に糖尿病診療を専門とする医師には必要ではないか、と考えています。

昔、私が研修医の時にオーベンから「朝、病棟に行く前に論文を1編読むように」言われました。1編の論文が、直ぐに役立つとは思えませんが、積み重なれば、いつか読んだ論文が何処かの場面で必ず役に立ちます。今すぐには役に立たないかも知れないが、知識を集積することにより、発想が豊かに柔軟になり、多様な話題に対応できるようになります。医学的知識だけで糖尿病療養指導を行おうとしても、必ずしも患者さんはついて来てはくれません。

私も高齢となり、診療時間を短縮しましたので、その「一般教養」あるいは「教養」を身につける余裕が出来ました。直ぐには役に立たないかもしれないが、いずれ、誰かの診療をしているときに、何かの役に立つ。そんな知識を、遅まきながら、今、一つでも多く身につけておきたいと思っています。

皮肉ではなく、「やっぱりお医者さんが一番教養がお有りですね」とお世辞にでも言って頂けるように。